

第6学年 音楽科学習指導案

東京都公立小学校

1 題材名 「日本に古くから伝わる音楽に親しみましょう」

2 題材の目標

- (1) 曲想と日本の伝統的な楽器の音色、旋律、音の重なりと音階などの音楽の構造との関わりや音階の響きや構成音、それらの組合せの特徴について理解するとともに、設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現する技能を身に付ける。
- (2) 日本の伝統的な楽器の音色、旋律、音の重なりや音階などを聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それらの働きが生み出す曲や演奏のよさ、面白さなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、即興的に表現することを通して様々な音楽づくりの発想を得たりする。
- (3) 日本の伝統的な音楽や音階などに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞や音楽づくりの学習活動に取り組む。

3 学習指導要領との関連

[A表現] (3) 音楽づくり：ア(ア) , イ(ア) , ウ(ア)

[B鑑賞] ア, イ

○児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

ア 音色、旋律、音の重なり、音階

イ 反復、音楽の縦と横との関係

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と日本の伝統的な楽器の音色、旋律、音の重なりと音階などとの関わりについて理解している。(鑑) ② 音階の響きや構成音、それらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さに関わらせて理解し、発想を生かした表現をするために必要な8拍の旋律をつくることを条件に、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。(づ)	① 日本の伝統的な楽器の音色、旋律、音の重なり、音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ② 日本の伝統的な音階の響きを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して、様々な音楽づくりの発想を得ている。	① 日本の伝統的な音楽や音階に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞や音楽づくりの活動に取り組もうとしている。

5 指導観

(1) 題材観

本題材は、構成を「鑑賞—歌唱・器楽—音楽づくり」と設定した。始めに、雅楽『越天楽』で日本の伝統的な楽器の音色や曲想を聴き取り、そのよさや美しさを感じ取る。次に歌唱・器楽では、歌詞の内容を理解したり、音階シートを使い、ミニキーボードで演奏したりすることで、鑑賞で聴き取ったことと比較しながら旋律の動きや音階の特徴などに気付けるようにした。最後に『越天楽今様』に使われている律音階で、即興的に音を選んだり組み合わせたりすることを通して音楽づくりの発想を得るようにした。

日本の伝統的な楽器の音色や演奏に価値を見いだして捉えたり、旋律づくりにおいて調整や改善を繰り返したりすることで、我が国の伝統的な音楽に興味・関心が深まるようにし、中学校の学習につなげたいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童観

『さくらさくら』の箏の演奏を通して感じ取ったり、『子守り歌』を歌ったりすることで、音階の響きや使用されている音などに気付き、日本の音階に親しんできた。本題材では、日本の伝統的な楽器の音色や旋律に親しんだり、音階の響きを感じ取りながら5つの音を組み合わせることで即興的に旋律をつくったり伴奏や飾りを重ねたりするこ

とを通して、日本の伝統的な音楽のよさや友達と協働して音楽をつくる楽しさなどを味わえるようにしたいと考えている。

(3) 教材観

○雅楽『越天楽』 日本古曲 平調 (音楽鑑賞振興財団 DVD 教材)

雅楽の中で最も有名な曲、作者は不明。三管 (竈笛, 篳篥, 笙), 三鼓 (鞀鼓, 太鼓, 鉦鼓), 両絃 (箏, 琵琶) が使われる。演奏は最初に竈笛の独奏から始まり, 次第に楽器が増えていく。通常は最後に「止め手」という短い終結部を付けて終わるが, 繰り返すごとに楽器を減らす「残楽」の演奏を鑑賞する。

○『越天楽今様』 慈鎮和尚作歌・日本古謡

雅楽『越天楽』に歌詞を付けたもので, 今に残る日本の最も古い歌謡とされている。日本の伝統的な音階による簡潔で, しかも優雅な旋律をもっており, ゆったりとした歌い方など, 日本の音楽の雰囲気を感じ取りやすい曲である。

○五音音階(律音階)による旋律づくり

- ①一人2小節(4分の4拍子)8拍ずつの旋律をつくる。
- ②4人のグループになり, つくった旋律に伴奏と飾りを重ねる。

<使用楽器>

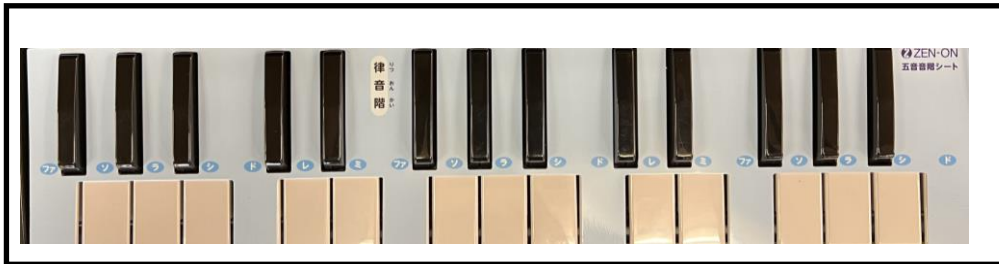
ミニキーボード カシオ SA-46 32鍵 (一人一台使用)

電子鍵盤楽器の中で比較的価格が安く, 軽量, 電池駆動。手元を見て歌いながら旋律をつくることのできるため, 思考・判断し, 表現する一連の過程を大切に学習の充実につながる。

音階シート (律音階) ゼンオン五音音階シート

ミニキーボードの鍵盤に音階シートを置いて使用する。音階の音が一目で分かるため, どの音を選べばよいか迷ったり, 違う音を出してしまったりする心配がなく旋律づくりができる。

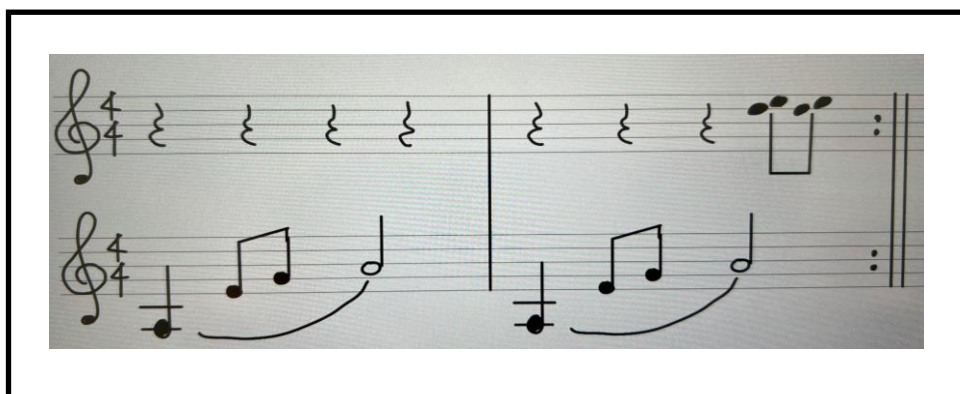
<使用する音階> 【律音階】 核音: レ, ラ 終始音: レ, ラ



<音の動き>



<伴奏・飾り>



6 題材の指導計画と評価計画

4 時間扱い

時	○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ T「教師の発問や価値付け」	知 技	思	態
<p><第一次のねらい> 雅楽『越天楽』を聴き、曲や演奏のよさを味わう。</p>					
1	<p>○ 雅楽『越天楽』を聴き、楽器の音色や曲想を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長い歴史をもつ日本の音楽であることを知り、雅楽『越天楽』を聴く。 ・ 気付いたことや感じ取ったことを伝え合い、音楽を聴いて確かめる。 ・ 映像を視聴し、楽器の種類や演奏の形態について知る。 ・ 雅楽の響きのよさを感じ取りながら曲全体を味わって聴き、楽器の音色や曲について気付いたことや感じたことをワークシートにまとめる。 ・ 気付いたことや感じ取ったことを伝え合い、古くから日本で大切にされてきた理由や世界とのつながりなどについて考える。 	<p>◇ 教科書の資料を基に、雅楽が日本に古くから伝わる伝統芸能であることや、雅楽の生まれた時代・背景について簡単に伝えておく。</p> <p>◇ 感じ取ったことを言葉にするヒントになるように音色を表現する言葉を掲示しておく。</p> <p>◇ なぜ 1200 年も変わらず伝承されてきたかなどを考えることによって、我が国の伝統的な音楽への興味・関心を高められるようにする。</p>	<p>① 知 発 言 ・ 記 述</p>	<p>① 発 言 ・ 記 述</p>	
<p><第二次のねらい> 律音階の響きに親しみながら『越天楽今様』を歌ったり即興的に音を選んで旋律をつくったりする。</p>					
2	<p>○ 『越天楽今様』の歌詞の内容を理解して歌ったり、音階の音の響きを感じ取ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『越天楽今様』と雅楽『越天楽』を聴き比べ、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う。 ・ 歌詞の意味を理解し、範唱を聴きながら歌う。 ・ リズム、速度、旋律の音の動きを意識して歌う。 ・ 曲想と歌詞、リズム、速度、旋律の関わりについて考える。 	<p>◇ 旋律を意識して聴くように声かけし、旋律が同じであることに気付くようにする。</p> <p>◇ 曲想と歌詞、音楽を形づくっている要素との関わりを考えるとともに平安時代の生活を想像することで、日本古来の音楽の雰</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を見たり階名唱したりして使われている音を確かめる。 ・律音階の旋律にふさわしい音色を選んで演奏する。 ・律音階で教師の示すいくつかの8拍の旋律を模倣したり、即興的に旋律をつくったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪</p> <p>ラ ソ ミ レ ミ ソ ラ ♪</p> <p>ラ シ レ ミ レ シ ラ ♪</p> <p>ラ シ ラ ソ ラ ラ ラ ♪</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返る。 	<p>囲気を味わえるようにする。</p> <p>◇音階シートを使うことで、簡単に演奏できるようにするとともに、使われていない音にも気付けるようにする。</p> <p>◇教師の模倣を基に、児童の発想を広げられるようにする。</p> <p>◇即興的に試した後に、どのような音の動きがあるかを確認して板書する。</p>			
3 本時	<p>○律音階の響きに親しみながら即興的に旋律をつくるよさや面白さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律づくりの条件を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>条件：・律音階でつくる。 ・8拍でつくり、8拍目は休符 ・隣の音に動く（跳躍後は隣の音）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・条件に基づき、即興的に旋律をつくる。 ・即興的につくった旋律をペアで聴き合ったりペアでつなげて表現したりする。 ・旋律の終わり方を考え、ペアグループで伴奏や飾りを交代しながら重ねて表現する。 ・即興的につくった旋律を全体に紹介する。 ・本時の学習を振り返る。 	<p>◇『越天楽今様』の音の動きを確認して隣の音に動くことで音階の雰囲気が出ることに気付くようにする。</p> <p>◇つくった旋律を聴き比べたり『越天楽今様』の旋律からヒントを得たりして終わりの音に気付くようにし、条件に加える。</p>		↓ ② 行動観察・演奏聴取・記述	
4	<p>○律音階の響きに親しみ、即興的につくった旋律を友達とつなげて表現し、よさや面白さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人のグループで旋律をつなげたり伴奏と飾りを重ねたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが工夫した点を述べて、グループの旋律を発表し、気付いたことを発言する。 <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して分かったことなどをワークシートに記入し、友達と伝え合 	<p>◇4人でつなげる順番や伴奏・飾りを交代で演奏するように伝える。</p> <p>◇どのようにつなげてつくっていたのかを伝え合うようにし、グループの工夫を共有する。</p>	↓ ② 技演奏聴取・発言		↓ ① 行動観察・記述

う。		
----	--	--

7 本時の展開

3 時間目

(1) 本時のねらい

日本の伝統的な音階の響きを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して、音楽づくりの発想を得ている。

(2) 本時の展開

○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ ◆ 評価規準 〈評価方法〉
<p>○ 律音階の響きに親しみながら即興的に旋律をつくるよさや面白さを感じ取る。</p> <p>・ 教師の旋律を模倣する。</p>	
<p>『越天楽今様』の音階のひびきを大切にしながら旋律をつくろう</p>	
<p>発問：『越天楽今様』の音階のひびきを大切にしながら旋律をつくるには、どのようなアイディアがあるかな。</p>	
<p>・ 旋律づくりの条件を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>条件：・ 律音階でつくる。 ・ 8拍でつくり、8拍目は休符 ・ 隣の音に動く（跳躍後は隣の音）</p> </div> <p>・ 条件に基づき、即興的に旋律をつくる。</p> <p>・ 即興的につくった旋律をペアで聴き合ったりペアでつなげて表現したりする。</p> <p>・ 旋律の終わり方を考え、ペアグループで伴奏や飾りを交代しながら重ねて表現する。</p> <p>・ 即興的につくった旋律を全体に紹介する。</p> <p>・ 本時の学習を振り返る</p>	<p>◇ 『越天楽今様』の音の動きを確認して隣の音に動くことで音階の雰囲気が出ることに気付くようにする。</p> <p>◇ つくった旋律を聴き比べたり『越天楽今様』の旋律からヒントを得たりして終わりの音に気付くようにし、条件に加える。</p> <p>◇ 4人でつなげる順番や伴奏・飾りを交代で演奏するように伝える。</p> <p>◇ 音階の響きを生かした伴奏や飾りの演奏になっているかどうかにも着目できるような声掛けをする。</p>
<p>◆ 日本の伝統的な音階の響きを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったことの間わりについて考え、即興的に音を選んだり組み合わせたりして旋律をつくることを通して、 音楽づくりの発想を得ている。思・判・表② 〈行動観察・演奏聴取・記述〉</p> <p>〈 Aと判断される児童の状況 〉</p> <p>・ いろいろなリズムや音の組合せ方を試行錯誤したり、友達にアイディアを提案したりするなどして、旋律づくりの発想を広げている。</p> <p>〈 Cと判断されそうな状況への手立て 〉</p> <p>・ これまで学習したいくつかの音の動きを示し、気に入ったものを選べるようにする。</p> <p>・ 音階のよさを生かした旋律をどのようにつくればよいのか、友達と一緒に音を出して試すようにする。</p>	